

# ジャックドまつりごみ減量マニュアル



ジャックドまつり実行委員会

はじめに

イベントは、そこに集まる人や物が多いことから、ごみの大量発生や資源・エネルギーの大量消費を伴うなど、様々な環境負荷が発生します。

また一方では、少しの工夫で、大きなごみの減量効果が期待できるほか、来場者の環境保全に対する理解や実践活動を促進する良い機会ともなります。

このため、ジャックドまつり実行委員会では、第17回ジャックドまつりの開催にあたって環境配慮を推進していただくための指針として『ごみ減量マニュアル』を策定しました。

今後、本マニュアルを参考に、地域で開催される多くのイベントにおいて、ごみの減量並びにリサイクルの推進に向けた取組みを実践していただき、地球温暖化防止や循環型社会の形成に結びつくことを願っております。

## 1 . ごみ対策

まず、最も大切なことは、ごみを発生させないことです。(リデュース)

次に大切なことは、再使用することです。(リユース)

さらに、使えないものは分別して再生利用しましょう。(リサイクル)

最後に、再生利用できないものは適正に処理しましょう。(適正処理)

### 取り組み

- ・「ごみステーション」をステージ会場に1つと下の会場に2つを設置します。
- ・「ごみステーション」は案内表示などを設置し、場所が目につくようにします。
- ・「ごみステーション」以外のごみ箱は設けず、来場者が自然と「ごみステーション」でごみを分別して処分するように促します。
- ・分別するごみの種類に応じて、表示札を作成します。
- ・「ごみステーション」にはスタッフが常駐するようにし、来場者に分別方法を説明したり、分別がされているか確認します。
- ・発生するごみの種類やリサイクルすることを想定して、分別区分を決めています。
- ・参加者にマイバッグの持参を呼びかけます。
- ・使い捨て容器を削減します。

## 2 . 参加者への環境啓発

参加者や関係者に、当該イベントにおける環境配慮の取組内容を紹介し、その協力を呼びかけること等により、環境に関する普及啓発を行います。

### 取り組み

- ・チラシやポスターなどに、環境に配慮した取組みの内容を明記し、積極的にPRします
- ・会場内では、環境に配慮した取組みの内容を来場者にわかりやすく説明し、協力を求めます
- ・会場一斉清掃を参加者全員で行います。

### 3 . 省エネルギー・省資源

資源・エネルギーの使用をできるだけ抑え、使った資源は、再使用（リユース）・再生使用（リサイクル）します。

#### 取り組み

- ・ポスターやチラシなどは印刷枚数を精査して、作成部数を削減します。
- ・余った印刷物等は主催者が持ち帰り、再使用、再生利用します。
- ・イベントの広報には、インターネットや電波媒体を活用します。
- ・チラシ、資料などは両面印刷します。
- ・印刷物には再生紙を利用しよう
- ・再生紙にはR マークがついています。できるだけ古紙パルプ配合率の高い用紙を使用します。
- ・看板、展示パネル、ブース等の仮設物には、既存のものやリユースできるものを使用します
- ・資材や物品等の調達にあたっては、環境に配慮した商品（エコマーク、グリーンマーク商品等）を購入します。
- ・できるだけ地域で生産された資材や物品を調達するなど、地産地消を心がけます。
- ・徒歩、自転車、公共交通機関など、環境負荷の少ない交通手段による来場を呼びかけます。

### 4 . 環境配慮を推進する運営体制

イベントの実施にあたっては、環境配慮を進めるための運営体制を整えて、開催時のみならず、計画、準備の段階から取り組みを進めていきます。

#### 取り組み

- ・環境配慮を進める体制を整えて、計画を立てます。
- ・主催スタッフ、ボランティア、出展者等への事前説明において、環境配慮の取り組み内容を伝え、実施の徹底します。
- ・環境配慮について取り組む担当者を決めて、進行管理を行います。
- ・環境配慮を進めるにあたって、関係団体等と協力します。